JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道	(2)記載者氏名:	鈴木　貞信	会員番号:	13645	事務局整理記入欄		北海道－25
分水嶺区分	樽前外輪壁西～H142樽前西山			(3)山行日:	2004年	3月	20日	(4)天候	晴後曇、積雪1.5m

(5) 参加者氏名および会員番号　　サポート要員氏名および会員番号

CL　西野　數之	11515	鈴木　美紀	会友10				
高木　百合子	13445						
SL　鈴木　貞信	13645						
石田　栄子	会友4						
	計	5名				計	名

(6) 山行記録・位置確認（出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して）・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	苔の洞門～樽前山外輪壁西～△994.6（樽前西山）～C651の東300m～林道取りつき～苔の洞門												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	札幌～支笏湖～苔の洞門入口（往復）												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1地形図名	経度E			緯度N			高度m	到着時刻	出発時刻	道の状況	(8)～(11)の特記事項等との関
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	苔の洞門入口	風不死岳	141	19	7.1	42	42	48.3	268				
分水嶺到達点	外輪壁西肩	樽前山	141	22	16.5	42	41	23.8	897		8:00		8, 9
H142	△994.6　樽前西山	樽前山	141	22	11.2	42	41	2.2	998	12:00			9
										12:30	12:50		8, 9
分水嶺離別点	C660	風不死岳	141	20	45.7	42	40	58.7	664	14:45	15:00		9, 10
歩行終了点	苔の洞門入口	風不死岳	141	19	7.1	42	42	48.3	268	18:10			8, 9
										総歩行時間（休憩時間を除く）:			9時間

分水嶺距離:　2.9km

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H142　樽前西山					積雪のため確認不能

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

樽前西山頂上に、NTTドコモの高さ2m位の箱型で上部が丸い施設あり。これは、国土地理院が地殻変動を監視するため、平成13年8月5日にＧＰＳ観測局「M樽前山」として設置したもの。この他に、樽前山周辺にはGPS局が気象観測所で5カ所、地質研究所で6ヶ所あるらしい（高木会員調査による）。
C440mからR276まで、苔の洞門右岸沿いに林道あり（地理院およびカシミール地図になし）。

(9) 水および植生に関連した特記事項

苔の洞門沿いは、エゾマツ、トドマツ等の人工林のほか、シラカバ、ハンノキ、カシワ等。
C700m～樽前外輪西壁～樽前西山にかけては、樹木は見当たらない。
樽前西山から西はダケカンバ、シラカバや雑木が密集していて、スキー滑降には不適。

(10) その他の特記事項

当初、多峰古峰山までを予定していたが、洞門の積雪や前日の降雪などで樽前西山までに遅れたほか、西山から西へのコース取りで遅れ、分水嶺上のC660mで帰りの時間を考えて、苔の洞門側へ降りた。
この山は、地図上では表れない深さ3～5mの沢が帯状にたくさんあり、乗り越すのに難儀した。

(11) 写真の添付:（有りの場合には、写真説明を記入してください）

写真説明:　樽前西山頂上

山行報告書（続き）
表面（1ページ目）に書ききれなかった事項を記入してください。